

第 31 回日本臨床工学会 委員会企画 パネルディスカッション報告

臨床工学国際推進財団

倉敷芸術科学大学

梶村友隆

臨床工学国際推進財団

仙台赤十字病院

吉岡 淳

2022年5月14日、第31回日本臨床工学会（於 つくば）において、日本、米国、インド、英国、台湾各国のクリニカルエンジニアが集い、感染症対応をテーマにした表題のパネルディスカッションが開催された。梶村が座長を務め、吉岡が「臨床工学技士による感染症対策」を報告した。当初、感染症対策全般をテーマと考えていたが、吉岡を含む各国ともに、直面していた新型コロナウイルス対策が反映された報告がなされた。各国におけるコロナ対応の現状を把握するばかりでなく、日本では行っていない感染対策をアドバイスいただけるなど、有意義な議論の場となった。

座長 岡山大学 平山隆浩

臨床工学国際推進財団、倉敷芸術科学大学 梶村友隆

演者（発表順）	所属	演題
吉岡 淳	臨床工学国際推進財団 日本赤十字社仙台赤十字病院臨床工学技術課	臨床工学技士業務に求められる COVID-19 対応
Nader Hammoud, Walnut Creek	California, USA	米国の臨床工学、COVID-19 版
Sahoo Vivekananda	AMTZ-Niti Aayog & Department of Science & Technology, Govt of India	インドのコロナ対応、酸素ボンベ の供給について
Rebecca Hodson	Kings College Hospital, London, UK	ICUにおける臓器支援療法管理
Chien-Wen Lai	Changhua Christian Hospital, Taiwan	台湾における COVID-19 流行予 防の経験と臨床工学の価値
平山隆浩	岡山大学学術研究院医歯薬学域 災害医療マネジメント学講座	COVID-19 対応で見た医療機 器供給体制の課題と臨床工学技 士の可能性



左上：演者のレベッカ先生
右上：座長の梶村先生と平山先生

CE in the USA – Duties and Responsibilities

Manage and Maintain the Life Cycle of medical equipment

- 1- Acquisition Planning
- 2- Training and Education
- 3- Service Strategy
 - a- OEM
 - b- ISO
 - c- Inhouse
- 4- CyberSecurity
- 5- Monitor trends and Reliability
- 6- Capital planning and disposal/replacement
- 7- Market study for new technology



Nader Hammoud, USA

以 上